様式３

南風原町立南星中学校 第3回学校運営協議会 報告書

１ 開催日時	令和８年７月１７日（金）　１８：００～１９：２０
２ 場　　所	南星中学校　図書館
３ 参 加 者	城間明・高嶺結知郎・當間将之・大宜見さつき・上地安郁・太田千賀子 與那嶺律子・山内康宏
４ 議　　題	・学校からの報告（三校の現状と課題） ・熟議：学校運営における地域連携
５ 議事要旨	(1)各校の現状報告(教頭) ・進路希望調査結果から、知念高校への進学希望が一番多い。また、県外高校への進学希望が一定数いることも特徴である。 ・文化活動やスポーツ活動における生徒の活躍が顕著で、表彰朝会の時間が足りないほどである。直近では、地区駅伝大会において、男子が２位入賞し、県大会へと出場する。 ・年度当初より、生徒の問題行動は減少している。課題のみられる一部の生徒には今後も粘り強く対応し、関係機関との連携も図っていく。 ・委員会や民生員による休憩時間の見守り活動のお陰で、喫煙等の問題行動が減少した。現在はＰＴＡ役員に依頼をし、有志による見守りを行い、現状を維持する予定である。 ・はえばる応援隊と連携し、就労体験学習やキャリア体験学習を実施し、生徒の学習への意欲を引き出す取り組みを始めた。 (2)熟議:学校運営における地域連携について ① 就労・キャリア体験の推進と受け皿の確保 就労・キャリア体験が自立や関係構築に奏功している実績を評価。マッチングの継続とともに、青年会や自治会行事など放課後・週末の地域活動を活用した新たな受け皿の確保を進める。 ②「キャリアパスポート（30 ボラン）」を活用したボランティア活動 県のボランティア表彰制度（30 ボラン）を全校生徒に展開。地域清掃やミニデイ補助等を対象に「全員で取り組む活動」とすることで不登校傾向の生徒も参加しやすくし、自己肯定感と地域貢献意識を育む。 ③ SNS・スマートフォン利用を巡る課題と家庭・地域での見守り SNS 上のトラブルや不適切動画等の課題に対し、事前把握の難しさを共有。家庭での利用ルール徹底を呼びかけるとともに、地域では対話を重視し、危険時は速やかに警察・学校へ共有する連携方針を再確認した。
６ 次回予定	令和９年１月１７日（日）　学校公開日